

ふれあい記録

実施日：令和7年7月18日

当番者名 鶴岡 重典・江口 正彦(代)・新海 昭

コース名：鍾乳洞と滝の道
天 候：快晴

(通し番号 第208回)

参加者名：石井 公子、江口 正彦、神谷 順子、熊谷 信雄、鶴岡 重典、西村 寿文、船橋 エイ子、
細矢 清志、宮原 宏至（9名）

<ビジター> 笠井 欣三、斎藤 國男、野口 和夫（3名） 以上五十音順

計12名（内、男性9名 女性3名）

交 通：集合 武蔵五日市駅前1番バス停 9:10

往路 京急（特急）金沢文庫6:30発⇒京急川崎6:59着⇒徒歩 JR川崎（南武線立川行）7:15発⇒8:16着立川8:26発（青梅線武蔵五日市行）⇒武蔵五日市9:00着 武蔵五日市バス停（西東京バス上養沢行）9:31発⇒大岳鍾乳洞入口バス停10:06着

復路 バス大岳鍾乳洞入口14:46発⇒15:22着武蔵五日市15:41発（青梅線立川行）16:10着立川16:16発（南武線川崎行）⇒17:15着 JR川崎⇒徒歩 京急川崎17:30発⇒金沢文庫17:57着

コース（歩行時間・距離） 約2時間20分・約7km

養沢神社（コース説明・体操）10:20⇒11:40着大滝（見物・集合写真）12:00出発⇒12:20着大岳キャンプ場（昼食）12:50出発⇒13:10着大岳鍾乳洞（見物・集合写真）14:00出発⇒養沢神社着14:20 バス大岳鍾乳洞入口14:46発⇒武蔵五日市バス停15:22 解散

みどころ：

- ・7月例会で猛暑が予想されたことから、「鍾乳洞と滝」という夏向きの内容とした。
- ・具体的な見どころとしては、大滝と大岳鍾乳洞の2か所
大滝は周囲の樹木が邪魔をして全景が見えにくかったが高さは十分で見事なものだった。
大岳鍾乳洞は洞内が狭くヘルメットをかぶりながら匍匐前進のような状態で進むような箇所があり、意外にきつかったが、洞内は11.7度でひんやりしていた。
- ・コースのスタートとした養沢神社は入り口に祀られていた龍王像が珍しかった。

自然観察：

- ・ほぼ全行程が川の横を通るもので川のせせらぎが涼やかで気持ちの良いコースだった。
- ・スタート直後の川沿いにフライフィッシングの釣り人がいた（ヤマメを狙っているようだ）。
- ・大滝への道中大岳沢では、濃い緑色の苔に覆われた岩の間を清流が流れています。
- ・このコースでは、多くのイワタバコ、大きなヤマユリが咲いていました。他にもキツネノボタン、タマアジサイつぼみ、ハキダメギク、マルバマンネンサク、ホタルブクロ、ノイチゴ、ノリウツギ、ネジバナ等が見られた。
- ・翅の裏が銀白色に輝くことが和名の由来である、ウラギンシジミが翅を休めていた。

特記事項：

- ・総会で提示されたコースは夏としては厳しいコースと判断してコースの大幅な縮小を行った。
- ・最大の見どころとした、大岳鍾乳洞はふれあいとして、初の鍾乳洞ということで探検気分もあり記憶に残る例会になったと思う。